

精 神 科 学

1 担当教員名

【研究指導教授】 教授 宮 田 淳

【科目担当者】

2 教育目標

(1) ねらい

学生は、精神疾患全般に於いて精神医学的見地からの研究方法を修得できる。

(2) 学修の到達目標

- ① 当該精神神経疾患そのものの理解(知識:当該精神疾患についての主要な文献を検索できる;態度:当該精神疾患の治療に参加できる;技能:当該精神疾患についてのrating scaleを適切に選択・実施・評価できる。
- ② 精神疾患のデータを統計的に処理できる(知識:統計の理解,態度:統計を用いて解析したデータをスライドを用いて説明できる;技能:SPSSなどのソフトを用いて実際の解析ができる。
- ③ 当該精神神経疾患の背景の理解(知識:当該精神疾患についての歴史的背景,他の精神疾患との関連などを理解する;態度:スライドなどを用いてこれを説明・表現できる;技能:背景知識を汲みこんだ形で研究計画を立て,結果を解釈できる。

3 授業内容

【講義】	精神科学一般についての最近の知見の他,精神病理学,精神症候学,脳波学,臨床遺伝学,精神薬理学,児童精神医学,心身医学,社会精神医学などの他,今日における精神医学の問題点,境界領域の疾患についての講義を行う。
【演習】	精神科領域における内外文献の紹介,輪読の他,各種疾患患者の診断,治療の実習並びに研究発表と討論を行う。
【実験研究】	外来,入院患者についての診断,治療を行う他,脳波学,精神薬理学,生化学,臨床疫学,心理学,脳神経画像学等の実験および研究を行う。

4 成績評価の方法・基準

各種精神疾患において,最新の文献的知見を理解することを評価するため,試験,小テスト,課題レポート等により評価する。また実際の外来および入院の症例を通して臨床研究につながる診察・研究発表・討論を行うことを加味し,総合的に判定する。

5 教科書・参考図書

必要に応じて適宜プリントを配布する。

6 準備学習(予習, 復習等)及び必要な時間

当該疾患の主要文献を読み込む。特に自身の研究と直接関連する先行研究に関しては、関連文献も含めて精読し、自身の論文作成の時に直接活用できるようメモを作成する(週7時間程度)

7 課程修了・学位授与方針と当該授業科目の関連

当該精神疾患に関する論文作成を通して、てんかんにおける精神医学的側面の分野での高度な専門知識と論理的思考を伴う研究実践力、特に専門領域での様々な課題に対応できる実践力を修得できる。

8 課題(試験・レポート等)に対するフィードバック方法

口頭で当該疾患の知識, また研究方法(統計の方法)などについて試問を適宜行い, 不十分な場合その場あるいは時期を改めてで指導を行う

9 履修上の留意点

精神疾患を抱える患者の苦悩に対して共感的に接することができること。

10 オフィスアワー

職名	氏名	曜日	時間帯	場所	連絡先
教授	宮田 淳	金	9:00~17:00	C棟7階教授室	内線 88345